

柳 密 院

昭和十七年十月二十日

委員長 窪田顧問官

委員 清水顧問官

菅原顧問官

潮顧問官

深井顧問官

南(弘)顧問官

松浦顧問官

林顧問官

二上顧問官

行政簡素化實施ノ爲ニスル内閣所屬部局及職員官制中改正ノ件外二十件審査報告

秘

行政簡素化實施ノ爲ニスル内閣所屬部局及職員官制中改正ノ
件外二十件審査報告

行一

今回御諮詢ノ行政簡素化實施ノ爲ニスル内閣所屬部局及職員官制中
改正ノ件外二十件ニ付本官等審査委員タルノ命ヲ受ケ事案ノ頗ル廣
汎多岐ニ亘レルニ因リ九月二十二日以降十數回委員會ヲ開キ當局大
臣及關係諸官ノ辯明ヲ聽キ縝密之ヲ査覈シ遂ゲタリ
内閣總理大臣ノ説明ニ依レバ支那事變勃發以來中央地方ヲ通ジテ戰
時下ノ行政事務ハ飛躍的ニ増大シ之ニ伴ヒ官廳機構ヲ擴充ノ一途ヲ
辿リ來レルガ之ガ爲官廳ノ職員ハ増加シ機構ハ複雑ト爲リ此ノ儘ニ
シテ推移センカ却テ國務ノ遂行ヲ阻碍スルノ惧ナシトセズ又一方大

東亞建設ノ進行ニ伴ヒ行政等ニ經驗アル人士ヲ要スルコト極メテ切ナルモノアリ仍テ今回政府ニ於テハ此ノ際行政事務ノ簡素化ヲ圖ルト共ニ官廳機構ヲ努メテ簡素ナラシメ之ニ因リテ人員ヲ減少シ其ノ餘剩ヲ以テ大東亞全般ニ亘リテ活躍スル人士ノ充實ニ充ツルヲ以テ喫緊ノ要務ト認メ去ル六月閣議ニ於テ行政簡素化實施要領ヲ決定シ人員減少ノ程度等々根本方針ヲ定メタリ次デ内閣及各省ニ於テハ之ニ基キ相當ノ減員ヲ實施スルモ尙行政ヲ強力ニ施行シ得ベキ具體案ニ付攻究ヲ重ネタル結果茲ニ本案ノ諸件ヲ立案スルニ至レリ

次ニ行政簡素化實施要領ノ大綱ヲ述ブレバ所謂行政簡素化諸案ハ行政機構ノ簡素化、之ニ伴フ行政官廳ノ職員ノ減員及其ノ待遇改善ノ

二

三者ヲ内容トスルモノニシテ行政機構ノ簡素化ニ付テハ或ハ行政事務ノ綜合調整ヲ圖ル爲總務局ヲ新設シ或ハ外局ノ中一部ヲ内局トスルノ外部局ノ廢合ヲ行ヒ又事務ノ性質ニ應ジ部局ノ移管ヲ行フコトトシ定員ノ減少ニ付テハ敢テ一律天引ノ方式ニ依ラズ内閣、各省、外地毎ニ戰時重點主義ニ基ク事務ノ刷新及機構ノ簡素化ニ依リ減員スルコトトシ官吏及待遇官吏ニ在リテハ本年六月一日ノ定員、囑託及雇傭員ニ在リテハ同日現在ノ豫算定員ヨリ勅任官、奏任官、判任官、囑託及雇傭員毎ニ中央官廳ハ三割、地方官廳ハ二割、作業廳ハ一割ヲ標準トシテ減員ヲ行ヒ又官廳職員ノ待遇改善ニ付テハ職員全員ニ對シ俸給給料ノ一割ニ相當スル金額ヲ戰時勤勉手當トシテ支給

シ家族手當ノ一人當金額現行三圓ヲ五圓トシテ職員全部ニ支給シ其
ノ他職員ノ共済組合ニ付組合加入者ノ範圍及共済給付ヲ擴張スル等
ノ措置ヲ講ズルト共ニ官吏ノ頻繁ナル更迭ヲ抑制シ熟達者ヲ優遇ス
ル目的ヲ以テ奏任官、判任官又ハ雇員ノ一定數ヲ夫々勅任官、奏任
官又ハ判任官ト爲シ得ルノ途ヲ拓クコトト爲サントス
次ニ本案各件ノ要旨ヲ述ブレバ左ノ如シ

第一 行政簡素化實施ノ爲ニスル内閣所屬部局及職員官制中改正ノ
件

行政簡素化實施ノ爲内閣ノ内局タル統計局ヲ廢止シテ新ニ外局々
ル統計局ヲ設置セントスルニ由リ本件ヲ以テ内閣所屬部局及職員

行三

官制ニ改正ヲ加ヘ從前ノ統計局ニ關スル條項ヲ削除シ（第一條、

第十五條及第十七條）統計局長以下ノ關係諸官ヲ廢官トシ又職員ノ減少ヲ

圖ランガ爲理事官其ノ他諸官ノ定員ヲ各若干減少セントス（第七

第二
十條）

第二 行政簡素化實施ノ爲ニスル統計局官制制定ノ件

本件ハ新設ノ統計局ノ組織權限ヲ定ムルモノニシテ其ノ主眼トス
ル所ハ統計局ハ内閣總理大臣ノ管理ニ屬シ（第一條）局長ハ企畫院

總裁ノ指揮監督ヲ承ケ局務ヲ掌理スルモノトシ（第三條）職員ノ定

員ヲ從前ノ統計局ニ比シ減少シ（第二條）本令施行ノ際ニ於ケル内

閣統計局員ノ任用ニ關スル經過規定ヲ設クル（附第二項及第三項）

ニ在リ

第三 行政簡素化實施ノ爲ニスル昭和十一年勅令第三百三十五號臨時

内閣ニ紀元二千六百年祝典事務局ヲ設置スルノ件廢止ノ件

本件ハ紀元二千六百年ノ祝典ニ關スル事務及各種奉祝記念事業ニ

關スル事項ノ統轄ノ事務ヲ掌ラシムル爲昭和十一年七月内閣ニ臨

時ニ設置シタル紀元二千六百年祝典事務局ヲ廢止セントスルモノ

ニシテ本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行シ（附則）從前

同局ノ所掌セル事務ハ當分ノ内内閣官房ニ於テ之ヲ掌ラシムルコ

トトシ（附則）及高等官官等俸給令中ニ必要ナル整理ヲ加ヘン

トスル（附則）ニ在リ

行四

第四 行政簡素化實施ノ爲ニスル高等試験委員及普通試験委員官制

中改正ノ件

本件ハ高等試験委員ノ事務ニ關シ設置セル常任書記ノ定員ヲ減少

シ及常任書記ハ判任官以外ノ官吏ヨリモ任用スルノ途ヲ拓カント

スルモノナリ

第五 行政簡素化實施ノ爲ニスル司法省官制中改正ノ件

本件ハ司法省ニ於テ行政簡素化實施ノ爲同省内ニ於ケル調査部ヲ

廢止シ（舊第六條ノ三）其ノ所掌事務中司法ニ關スル資料ノ調査事務ヲ

大臣官房ヘ、裁判所ノ設立、廢止及管轄區域ニ關スル事務ヲ民事

局ヘ夫々移管シ（第二條及第五條）調査部長ヲ廢官トスルノ外書記官其

ノ他諸官ノ定員ヲ各若干減少セントスルモノナリ（第三條、第六條ノ二、第八條、第八條ノ二及第九條）

第六 行政簡素化實施ノ爲ニスル文部省官制改正ノ件

本件ハ形式上現行文部省官制ノ全部改正ナルモ其ノ主眼ハ行政簡素化實施ノ爲部局ノ構成ノ變更及職員ノ減少ヲ爲サントスルニ在リテ實質上現行規定ト異ル所ノ要點ヲ舉グレバ（一）同省内ニ於ケル部局中専門學務、普通學務、實業學務、社會教育、宗教ノ五局竝ニ教育調查部及同省ノ外局タル敎學局ヲ廢止シ之ニ代フルニ總務、専門教育、國民教育、敎學、科學及敎化ノ六局ヲ新設シテ從前ノ體育局及圖書局ニ加ヘテ八局トシ（第三條及附）總務局ニ於テハ

行五

從前ノ大臣官房ノ所掌事務ノ一部及調查部ノ所掌事務ノ外文敎ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要政策ノ綜合調整ニ關スル事務、専門敎育局ニ於テハ概ネ從前ノ専門學務局所掌事務ノ大部分、國民敎育局ニ於テハ概ネ從前ノ普通學務局所掌事務ノ外青年學校及實業學校竝ニ青少年團體ニ關スル事務、敎學局ニ於テハ從前ノ敎學局ノ所掌事務及敎育會等ニ關スル事務、科學局ニ於テハ科學研究ノ振興及科學敎育ノ指導ニ關スル事務竝ニ帝國學士院、氣象官署等ニ關スル事務、敎化局ニ於テハ從前ノ宗教局所掌事務ノ外社會敎育ニ關スル事務ヲ掌ルモノトシ（第四條乃至第八條及第十一條）（二）同省ノ職員ニ於テ從前學事ノ觀察監督ヲ掌ラシムル爲ニ督學官ヲ、社會

教育ノ指導監督ヲ掌ラシムル爲ニ社會教育官ヲ、教學ノ刷新振興ニ關スル調査指導監督ヲ掌ラシムル爲ニ教學局教學官ヲ夫々設置セルモ此等諸官ハ職務上互ニ密接ナル關係アルノミナラズ其ノ任務ハ畢竟教學ノ刷新振興ニ在ルヲ以テ之ヲ統合シテ教學官ヲ置クコトトシ教學官ハ上官ノ命ヲ承ケ教學ノ刷新振興及教育ニ關スル視察指導監督ヲ掌ルモノトシ（第十條）（三）書記官其ノ他諸官ノ定員ヲ若干増減シ（第十三條乃至第二十八條）職員ノ任用ニ關シ必要ナル經過規定ヲ設クル（第三項乃至第六項）ニ在リ

第七 奏任ノ文部省教學官ノ特別任用ニ關スル件
前記ノ官制改正ニ伴ヒ文部省教學官ハ其ノ職任ニ鑑ミ其ノ任用ヲ

行六

普通任用ノ資格アル者ノミニ限定スベカラズシテ之ニ對シ特別任用ノ途ヲ拓クノ要アルニ由リ本件ヲ以テ新ニ規程ヲ設ケ奏任ノ文部省教學官ハ其ノ職務ニ必要ナル學識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得ルモノトシ且此ノ任用ニ實際上ノ支障ナカラシムル爲大正二年勅令第二百六十二號（任用分限又ハ官等ノ初敘陞敘ノ規定ヲ適用セサル文官ニ關スル件）第二條列記ノ諸官中ニ右ノ文部省教學官ヲ追加シ該官モ亦高等官官等俸給令第四條所定ノ初敘官等ニ關スル制限ヲ受ケザルモノトシ（附三項）（文部省督學官及社會教育官ノ各任用規程ハ之ヲ廢止スルモノトス（附二項））

第八 行政簡素化實施ノ爲ニスル農林省官制中改正ノ件

本件ハ農林省ニ於テ行政簡素化實施ノ爲昭和十六年一月設置シタル資材部ヲ廢止シ（附則）其ノ所掌事務中農林畜水産業ノ經營ニ必要ナル物資（肥料及飼料ヲ除ク）ノ配給及消費竝ニ油脂ニ關スル事務ヲ總務局ヘ、肥料（化學肥料ニ付テハ其ノ生産數量、配給及消費）及飼料ニ關スル事務ヲ農政局ヘ夫々移管シ（第三條及第四條）書記官其ノ他諸官ノ定員ヲ各若干減少セントスルモノナリ（第十條、第十一條、第十三條乃至第十八條）

第九 行政簡素化實施ノ爲ニスル商工省官制中改正ノ件

本件ハ行政簡素化實施ノ爲商工省官制中ニ改正ヲ加ヘントスルモ

行七

ノニシテ（一）商工大臣ノ主管事務中ニ交易ニ關スル事務及交易ニ伴フ外國爲替ノ管理ニ關スル事務ヲ加ヘ（第一條）（二）同省内ノ鑛産、

鐵鋼ノ二局ヲ合併シテ金屬ノ一局ト爲シ及同省ノ外局タル貿易局

ヲ廢止シテ内局タル交易局ヲ設ケ（第二條及附則）金屬局ニ於テハ

一部特定ノ事務ヲ除ク外鑛物及金屬ニ關スル事務ヲ、交易局ニ於

テハ從前貿易局ノ所掌セル事務ヲ夫々掌ルモノトシ（第四條及

（三）貿易局ノ内局移管ニ伴ヒ附隨ノ條項ヲ加ヘ（第九條、第十條、

一）（四）書記官其ノ他諸官ノ定員ニ若干ノ増減ヲ施シ（第十二條乃至第十四條、

第十七條乃至第二十條）職員ノ任用ニ關シ必要ナル經過規定ヲ設クル

（附則）第三項及第四項ニ在リ

第十 行政簡素化實施ノ爲ニスル遞信省官制中改正ノ件

本件ハ行政簡素化實施ノ爲遞信省官制中ニ一部ノ改正ヲ施サントスルモノニシテ(一)遞信大臣ノ主管事務中ニ電氣及發電水力ニ關スル事務ヲ加ヘ簡易生命保險及郵便年金ニ關スル事務ヲ削リ(第一條)(二)同省内ノ管理、經理ノ二局及外局タル電氣廳ヲ廢止シテ新ニ同省内ニ總務、電氣ノ二局ヲ置キ(第三條及附則第二項)總務局ニ於テハ從前ノ經理局ノ所掌事務ノ外ニ遞信事務ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要遞信政策ノ綜合調整ニ關スル事務ヲ、電氣局ニ於テハ概ネ從前電氣廳ノ所掌セル事務ヲ夫々掌ルモノトシ郵務局ノ所掌事務ヲ若干改正シ(第三條ノ二、第四條及第六條)(三)電氣廳ノ内局移管ニ伴ヒ電

權ハ

氣局參與ノ制ヲ設ケ又新ニ電氣局ニ屬シ技術ヲ掌理セシムル爲勅任ノ電氣技監一人ヲ置キ(第六條ノ二及第六條ノ三)(四)遞信官吏練習所及新設ノ海底線工事事務所ニ關スル規定ヲ置キ(第十條ノ三及第十條ノ五)(四)書記官其ノ他諸官ノ定員ヲ若干増減シ(第二條、第六條)職員ノ任用ニ關シ必要ナル經過規定ヲ設クル(附則第三項及第四項)ニ在リ

第十一 行政簡素化實施ノ爲ニスル簡易保險局官制制定ノ件

本件ハ別件ノ行政簡素化實施ノ爲ニスル厚生省官制中改正ノ件ニ依リ保險院官制廢止セラルルニ伴ヒ從前保險院ノ所掌セル事務ノ一半ヲ掌ラシムル爲新ニ簡易保險局ヲ設置スルコトヲ定ムルモノニシテ即チ簡易保險局ハ遞信大臣ノ管理ニ屬シ簡易生命保險、郵

便年金及其ノ附帶業務ニ關スル事務ヲ掌ルモノトシ支局ノ設置ニ
關スル規定ヲ設ケ（第一條）所屬ノ職員及其ノ職掌ヲ定メ（第二條）乃至第
八（其ノ他職員ノ任用ニ關シ所要ノ經過規定ヲ設クル）（附第二項及
第三項）ニ在リ

第十二 行政簡素化實施ノ爲ニスル鐵道省官制改正ノ件

本件ハ形式上現行鐵道省官制ノ全部改正ナルモ其ノ主眼トスル所
ハ行政簡素化實施ノ爲内外ノ部局ヲ統合シテ其ノ機構ヲ改編シ及
鐵道行政ノ機能發揮ニ資スル爲在來ノ官ヲ統合シ新規ノ官ヲ設置
セントスルニ在リテ實質上現行規定ト異ナル所ノ要點ヲ擧グレバ
（一）大臣官房ノ所掌事務ヲ整備シ（第二條）（二）同省内ニ於ケル監督、

運輸、建設、工務、工作、電氣、經理及需品ノ八局竝ニ同省ノ外
局タル國際觀光局及鐵道調查部ヲ廢止シ之ニ代ヘテ同省内ニ總務、
要員、監理、業務、施設及資材ノ六局ヲ置クコトトシ（第三條及
附則第二
項）總務局ニ於テハ概ネ從前ノ經理局及鐵道調查部ノ所掌事務ヲ、
要員局ニ於テハ要員ノ整備、厚生等ニ關スル事務ヲ、監理局ニ於
テハ地方鐵道等ノ陸運ノ監理及國營自動車ニ關スル事務ヲ、業務
局ニ於テハ國有鐵道、國營船舶等ニ關スル事務其ノ他從前ノ國際
觀光局ノ所掌事務ヲ、施設局ニ於テハ概ネ從前ノ建設、工務、電
氣三局ノ所掌事務ヲ、資材局ニ於テハ概ネ從前ノ需品、工作二局
ノ所掌事務ヲ夫々掌ルモノトシ（第四條乃至第九條及附則第二項）（三）地方ニ八鐵

道局ヲ置キ其ノ所掌事務等ヲ定メ從前ノ鐵道局官制ハ之ヲ廢止シ
(第十一條、第十二條及附則第二項) 同省ノ職員中鐵道手ヲ除ク從前ノ諸官ハ

總テ之ヲ廢シ新ニ同省ニ勅任ノ鐵道監專任二十六人、奏任ノ鐵道
官專任千七十一人及判任ノ鐵道官補專任四萬六十三人ヲ置キ其ノ
職掌ヲ定メ同省ノ各局長及各鐵道局長ハ鐵道監中ヨリ之ヲ補スル
コトトシ鐵道官ニシテ文官任用令第五條ノ規定ニ依リ任用スル者
以外ノモノノ員數ハ前記鐵道官ノ定員ノ十分ノ九ヲ超ユルコトヲ
得ザルモノトスル (第十四條乃 至第十八條) ニ在リ而シテ本案ハ尙同省ノ職
員ニ關シ其ノ任用ニ支障ナカラシムル爲必要ナル經過規定ヲ設ケ
鐵道部內臨時職員設置制ハ之ヲ廢止シ各省官制通則中ニ鐵道省ニ

行一〇

於テハ書記官及屬ヲ缺ク旨ノ改正ヲ加ヘントス (附則 第二項乃至第六項)
本件ニ關聯シ政府ニ於テハ今回ノ鐵道省關係ノ官名統一ハ鐵道省
ノ特質ニ鑑ミ戰時下ノ鐵道運營ノ完璧ヲ期スル爲特ニ之ヲ實施セ
ントスルモノナリ從テ政府ハ同様ノ事ヲ他ノ省ニ及ボスモノニ
非ズトノ言明ヲ爲シタリ

第十三 鐵道監、鐵道官又ハ鐵道官補ノ任用ニ關スル件
本件ハ前記ノ鐵道監、鐵道官又ハ鐵道官補ノ任用ニ關シ規程ヲ設
ケントスルモノニシテ主トシテ事務ニ從事スル鐵道監、鐵道官又
ハ鐵道官補ハ事務系統ノ官ノ任用ニ關スル文官任用令ノ諸規定ニ
依リ又ハ奏任文官特別任用令ニ基ク特別任用ノ例ニ依リ之ヲ任用

スルモ（第二項）其ノ他ノ鐵道監、鐵道官又ハ鐵道官補ハ其ノ職任ニ鑑ミ各其ノ職務ニ必要ナル學識、技能及經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ鐵道監ニ在リテハ勅任文官銓衡委員會、鐵道官ニ在リテハ高等試験委員、鐵道官補ニ在リテハ普通試験委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用スルモノトス（第一項）之二件ヒ勅任文官銓衡委員會並ニ高等試験委員及普通試験委員ノ所掌事務ヲ整備シ（附則第二項）鐵道監及鐵道官ニ付テハ其ノ任用ニ實際上ノ支障ナカラシムル爲大正二年勅令第二百六十二號（任用分限又ハ官等ノ初級陞級ノ規定ヲ適用セサル文官ニ關スル件）第二條列記ノ諸官中ニ之ヲ追加シ此ノ二官モ亦高等官官等俸給令第四條所定ノ初級官等ニ關スル制限ヲ受ケ

ザルモノト爲ス（附則第三項）

第十四 行政簡素化實施ノ爲ニスル厚生省官制中改正ノ件

本件ハ行政簡素化實施ノ爲厚生省官制中ニ改正ヲ加ヘントスルモノニシテ（一）厚生大臣ノ主管事務中ニ社會保險ニ關スル事務ヲ加ヘ（第一條）（二）大臣官房ノ所掌事務ニ別案ノ勅令ヲ以テ新設セラルベキ厚生省研究所ニ關スル事項ヲ加フルノ外之ヲ整備シ（第二條）（三）同省内ノ豫防、勞働及職業ノ三局ヲ廢シ並ニ同省ノ外局タル保險院ヲ廢止シテ新ニ同省内ニ勤勞及保險ノ二局ヲ設ケ（第三條及附則第二項）勤勞局ハ概ネ従前ノ勞働及職業ノ二局ニ於テ所掌セル事務ヲ、保險局ハ概ネ従前ノ保險院社會保險局ノ所掌セル事務ヲ夫々掌ルモ

ノトシ從前豫防局ノ所掌セル事務ハ之ヲ衛生局ノ所掌事務ニ移シ
其ノ他人口、生活二局ノ掌理事項ヲ整理シ（第四條乃至第八條）
全研究所ニ關スル規定ハ別案官制ニ依リ厚生省研究所ノ新設セラ
ルルニ伴ヒ之ヲ削除シ（舊第二）
（四）新ニ厚生省ニ技術ヲ掌理セシ
ムル爲勅任ノ技監專任一人ヲ置ク（第十條）
外事務官其ノ他諸官ノ
定員ヲ若干増減シ（第十一條、第十三條及）
職員ノ任用ニ關シ所
要ノ經過規定ヲ設クル（附第三項及第四項）ニ在リ
第十五 行政簡素化實施ノ爲ニスル樞密院官制中改正ノ件
本件ハ行政簡素化實施ノ爲樞密院官制中ニ改正ヲ加ヘ樞密院書記
官ノ定員中一人ヲ減ゼントスルモノナリ

第十六 行政簡素化實施ノ爲ニスル大藏省官制中改正ノ件
本件ハ形式上現行大藏省官制ノ全部改正ナルモ其ノ主眼ハ行政簡
素化實施ノ爲部局ノ構成ノ變更及職員ノ整理ヲ爲サントスルニ在
リテ實質上現行規定ト異ル所ノ要點ヲ舉グレバ（一）大藏大臣ノ主管
事務中ニ預金、建造物ノ營繕、國有財産ノ總轄及整理、雜種財産
ノ管理處分及國民貯蓄ニ關スル事務ヲ加ヘ（第一）
（二）同省内ノ會
社部ヲ廢止シテ理財局ニ併セ爲替局ヲ外資局ニ改メ並ニ同省ノ外
局タル營繕管財局、國民貯蓄獎勵局及預金部ヲ廢止シ之ニ代フル
ニ同省内ニ總務、營繕管財、國民貯蓄及資金ノ各局ヲ新設シ從前
ノ主計、主稅、銀行及監理ノ各局ヲ合セテ十局トシ（第二條及附）

總務局ハ從前ノ大臣官房ノ所掌事務ノ一部ノ外國家資金ノ動員及配分等財政及金融ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他之ニ關スル重要政策ノ綜合調整ニ關スル事務、北海道地方費府縣市町村及公共組合ノ財務ニ關スル事務並ニ罹災救助基金ニ關スル事務ヲ、營繕管財局、國民貯蓄局及資金局ハ概ネ從前ノ營繕管財局、國民貯蓄獎勵局及預金部ノ各所掌事務ヲ、外資局ハ從前ノ爲替局ノ所掌事務ノ外在外資金其ノ他在外財産ニ關スル事務及海外ニ於ケル財政金融ノ調査ニ關スル事務ヲ夫々掌ルモノトシ從前大藏省會社部ノ掌理セル事務ハ之ヲ理財局ノ所掌事務ニ移シ其ノ他主計、主税、理財、銀行、監理各局ノ掌理事項ヲ整理安排シ（第三條乃至）（同從

前海外ニ於ケル財務處理ノ爲大藏省ニ臨時職員トシテ設置シタル海外駐劄財務官以下ノ諸官ヲ本案官制中ニ移シ（第十五條、第十七條、第二十六條）營繕管財局ノ內局移管ニ伴ヒ同局ニ屬シ技術ヲ掌理セシムル爲勅任ノ營繕技監專任一人ヲ置キ（第十條）從前ノ銀行檢查官、爲替管理官及保險事務官又ハ銀行檢查官補、爲替管理官補及保險事務官補ノ官名及職掌ヲ整理シテ一樣ニ監督官（奏任）又ハ監督官補（判任）トシ監督官ハ上官ノ命ヲ承ケ金融機關等ノ檢查監督ヲ掌リ監督官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ金融機關等ノ檢查監督ニ從事スルモノトシ（第十九條及）（第二十二條）同省ノ諸官ノ定員ヲ若干増減シ（第十五條及第十七條）職員ノ任用ニ關シテ所要ノ經過規定ヲ設

クル（附）第三項及第四項（則）ニ在リ

第十七 行政簡素化實施ノ爲ニスル朝鮮總督府中樞院官制中改正ノ件

本件ハ行政簡素化實施ノ爲朝鮮總督府中樞院官制ニ一部ノ改正ヲ加ヘ中樞院職員中專任一人ノ通譯官ヲ廢シ屬及通譯生ノ專任定員ヲ一人減員セントスルモノナリ

第十八 昭和 年勅令第

號行政簡素化實施ノ爲ニスル警

視廳官制外九勅令中改正ノ件施行ノ際ニ於ケル待遇職員ニ

關スル件

本件ハ昭和 年勅令第

號（行政簡素化實施ノ爲ニスル

行一四

警視廳官制外九勅令中改正ノ件）施行ノ際ニ於テ現ニ特定ノ奏任官待遇又ハ判任官待遇ノ職員タル者ヲ警視廳若ハ北海道廳ノ事務官、府縣ノ地方事務官等ノ奏任官又ハ警視廳、北海道廳若ハ府縣ノ屬等ノ判任官ニ夫々任用スル旨ヲ定メ及其ノ官等、俸給、懲戒等ニ關シ必要ナル經過規定ヲ定メントスルモノナリ

第十九 奏任文官特別任用令及昭和十六年勅令第四十七號厚生省勞

務官等ノ特別任用ニ關スル件中改正ノ件

本件ハ今回地方待遇職員ヲ奏任官又ハ判任官ト爲スコトトセルニ伴ヒ奏任文官ノ特別任用ニ關シ必要ナル改正ヲ施サントスルモノニシテ（一）都市計畫地方委員會事務官等ノ諸官及警視廳職業官等ハ

夫々其ノ職務ニ必要ナル學識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得ルモノトシ（一）地方待遇職員令又ハ同令ヲ準用スル規定ニ依リ任用セラルル事務職員ヲ、高等官四等ヲ最高官等トスル奏任官ニ任用スル場合ニ於ケル在職年限ノ計算ニ關スル規定等ヲ定メントスルモノナリ

第二十 行政簡素化臨時職員令

本件ハ行政簡素化ノ諸勅令實施ニ伴ヒ廢官又ハ定員過剩ト爲ル官ニ付テ經過規定ヲ定メントスルモノニシテ（一）今回ノ行政簡素化ノ勅令ニ因ル廢官ニ係ル官ニ當該勅令施行ノ際現ニ在官スル者ニ付テハ其ノ者ガ引續キ其ノ官ニ在官スル間ハ臨時其ノ官ヲ置カレタ

行一五

ルモノトシ其ノ官等停給ハ従前ノ例ニ依ルコトトシ此等ノ者ハ休職者其ノ他内閣總理大臣ノ指定スル者ヲ除キ待命トシ（第一條第一項及第二項）

（二）今回ノ行政簡素化ノ勅令ニ因リ過員ヲ生ジタル官ニ付テハ其ノ過員ニ係ル員數ヲ限リ其ノ官ノ定員外ト爲スコトヲ得ベク此等ノ官ニ在職スル者ニ付テハ本屬長官ハ必要ニ依リ過員ニ係ル員數ノ範圍内ニ於テ之ニ待命ヲ命ズルコトヲ得ルモノトシ（第二條）（三）待命者ノ服務ニ關スル規定ヲ定メ（第三條及第四條）其ノ他本令ノ適用又ハ準用上必要ナル規定等ヲ定ムル（第一條第三項及第五條乃至第七條）ニ在リ

第二十一 昭和十三年勅令第五百四十八號（農林省物價事務官及物

價局物價事務官等ノ特別任用ニ關スル件）中改正ノ件及

昭和十四年勅令第七百號（青年教育官ニ補セラルベキ北

海道廳事務官及地方事務官ノ特別任用ニ關スル件）廢止

ノ件

本件ハ別件ノ勅令改正ニ依リ北海道廳事務官及地方事務官ニ特別任用ノ途ヲ拓クコトト爲リタルニ由リ必要ナル整理ヲ施サントスルモノナリ

按ズルニ本案ノ諸件ハ大東亞戰爭ノ進展ニ伴ヒ大東亞建設ニ從事スベキ要員ヲ供出シ兼ネテ一般行政ノ簡素強力化ヲ圖ランガ爲中央及地方ニ於ケル行政機構ノ整理竝ニ職員ノ減少等ニ關シ必要ナル官規ヲ改廢スルコトヲ主眼トスルモノニシテ其ノ目的ニ於テハ之ヲ是認

行一六

スベキモノナルヲ以テ各案ノ條項ニ付テハ論議ノ餘地ナキニ非ズト雖政府ガ之ニ依リ現下ノ重大時局ニ對處スルコトヲ緊急必要ナリトスル以上姑ク之ヲ容認スルノ外ナキモノト認ム唯本案諸件ノ實施ニ當リテハ之ガ運營ノ適正ヲ圖リ官紀ノ振肅ヲ期スル等最善ノ注意ヲ拂ヒ以テ所期ノ效果ヲ收ムルニ遺漏ナカラシムコトヲ切望セザルヲ得ズ仍テ審査委員會ニ於テハ前記鐵道省官制案ニ關聯シ政府ノ爲シタル言明ヲ諒トシ本案ノ各件ハ總テ原案ノ儘之ヲ可決セラレ然ルベキ旨右希望事項ト共ニ全會一致ヲ以テ議決シタリ

右審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十七年十月二十二日

審査委員長

樞密顧問官 窪田 靜太郎

審査委員

樞密顧問官 清水 澄

樞密顧問官 南 弘

樞密顧問官 菅 原通敬

樞密顧問官 松浦 鎮次郎

樞密顧問官 潮 憲之輔

樞密顧問官 林 頼三郎

樞密顧問官 深井 英五

樞密顧問官 三上 兵治

樞密院議長 原 嘉道殿

大東亞省官制外八件審査報告

昭和十七年十月二十四日

委員長 鈴木副議長

委員 石井顧問官

潮顧問官

小幡顧問官

三土顧問官

池田顧問官

南(弘)顧問官

二上顧問官

竹越顧問官

伊澤顧問官

南(次郎)顧問官